

## 「大学入学共通テスト」迫る！

大幅な入試制度改革から2年目の冬を迎える中、「大学入学共通テスト」まで残り1か月を切りました。昨年度はコロナウイルス感染拡大による学業の遅れに配慮し、第2日程が設定されましたが、今年度は1月15日（土）・16日（日）の実施に集約されています。全国の志願者総数は530,367名と昨年度と比較して約5千名程度減少したものの、全現役生のうち共通テストに出願した者の割合は全体の45.1%と過去最高を記録しています。

本校3年生は全体の58.5%にあたる**96名**が出願しており、昨年度と比較すると18名増加しています。内訳は2教科以下受験者12名、3教科以上受験者84名で、昨年度と同様に**山梨大・山梨学院大・山梨県立大池田キャンパス**の3会場に分散しての受験となります。2年前まで試験当日の2日間は、朝の出席確認を兼ねて学年の先生方を中心に各会場で受験生を激励していましたが、こちらも感染拡大防止の観点から会場周辺への受験生以外の立ち入りが厳しく制限されるため、Classi を活用して出席確認を行う予定です。受験上の全般的な注意については、年明けに周知する機会を設けています。冬季休業中も引き続き感染対策に万全を期してください。

初の実施となった昨年度は、出題傾向が大きく変わった科目があった一方、全体の難易度にはそれほど変動はないという結果でしたが、2回目となる今回は難化が予想されています。受験に臨む3年生の皆さんにとって、この共通テストは3年間の学業の集大成です。各科目とも基本内容からの出題で取りこぼしを最小限に抑えることに加え、得意な科目で高得点が確保できるよう、冬季休業中の課外や自宅での学習に集中して取り組んでください。1・2年生の皆さんは、実際の出題内容を含めた共通テスト関連の報道に注目しましょう。

## 各種体験事業・オープンキャンパスへの参加について

感染状況が悪化していた夏季休暇前後の時期と比較すると、1・2年生を対象とした来校型のオープンキャンパスを実施する学校が増えています。その多くが事前予約の上、最小限の人数で実施するなど感染対策には十分配慮しています。進学先として考えている学校で実施する場合は、参加についてご家庭でよく話し合ってください。また、今後も感染状況を見守りつつ、参加可能な体験事業について随時HRを通して連絡します。いざ進学するという段階になって、**希望職種の体験事業**や**ボランティア活動への参加**が皆無であったことが判明するケースが例年複数見られます。選考時に意欲・関心を疑問視されないよう、参加可能な状況であれば、積極的に参加することを検討しましょう。

# 新入試制度 2 年目、今後意識してほしいことは？

## ①オンラインを活用した出願および受験への対応を知っておきましょう

感染状況が著しく悪化していた夏季休業期間から 9 月にかけて、専門学校の A O 入試および大学・短大の総合型選抜のエントリー期間と重なったため、第一段階となる面談をオンラインで実施した後に必要書類を提出する形式が昨年度に続いて多く見られました。また、首都圏の大学・短大では、実際の面接試験の際にも受験生が対面形式またはオンライン形式のいずれかを選択・指定できるケースもありました。さらに、4 年制大学を中心に写真データを含めてインターネット出願が主流となってきたため、「パソコンに詳しくないからわからない」という消極的姿勢では出遅れが懸念されます。特に 2 年生の皆さんは、今年度の募集要項等で志望校の出願形式を把握しておく必要があると考えます。

## ②自らの歩みを自分の言葉で表現する力を身につけましょう

昨年度以降、出願書類の記載内容や分量は大幅に変わっています。「エントリーシート」（主に総合型選抜）や「志望理由書」（主に学校推薦型選抜）に加えて、あるいはそれに代わるものとして、「学修計画書」や「自己推薦書」の提出を課す大学が非常に増えています。前者は入学後の学びについて見通しを持って具体的な計画を立て、それを文章化したものであり、後者は単なる自己の売り込みにとどまらず、いかに志望分野に対する適性や意欲に富んでいるかをアピールするものです。将来への明確な展望を持っているか、そして高校在学中のさまざまな挑戦や努力を経た上での自己の変容と成長を自信を持って伝えられるかが問われています。その際、ただ「頑張った」や「成長した」を羅列しても、それはあくまで自分の基準に過ぎません。指定された形式や内容に沿って、皆さんにとって未知の相手（受験先の採点官など）が読んでわかりやすく書けているかどうか重要なポイントとなります。授業中を含めて日頃から考えたことや感じたことを書く習慣を定着させましょう。

### 〈3 年生の保護者の皆様へお願い〉

本校生徒の進路検討・選択に際し、例年ベネッセや河合塾等の受験関連企業が取りまとめた各種データ（偏差値・合格可能性判定など）を活用しております。これは全国の高校生の入試結果情報等により作成されたものであり、今年度の本校生徒の入試結果についても、個人情報取り扱いに細心の注意を払った上で「個人が特定されない形式」での提供を予定しております。この件に関しまして、御同意いただけない場合は提供を控えますので、1 月 7 日（金）始業式までに、HR 担任または進路指導部までお知らせください。

### 〈1・2 年生の保護者の皆様へお願い〉

上述の通り、「主体的・多面的な評価」が重視される傾向は今後一層強くなると予想されます。実用英語検定や漢字検定など資格取得への挑戦、また各種ボランティア活動への参加について御家庭においても督励していただけますよう、お願いいたします。学校が窓口となるものについては、随時お知らせしておりますので、お子様を通じて御確認ください。